

迎春



小郡市長
平安 正知

小郡のひと・まち・未来がつながり
さらに輝き・成長・発展するため

新

年あけましておめでとうございます。

平成29年の輝かしい新春を迎え、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。また、平素より、市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

昨年の動きを見えますと、4月には、熊本や大分を震源とする大地震が発生し、各地に甚大な被害をもたらしました。また、南海トラフを震源とする巨大地震発生の可能性も指摘されており、対策が急がれています。さらに、地球温暖化に伴う台風被害の激甚化など、自然災害に対する備えが喫緊の課題となっております。

また、昨年行われた国勢調査の数値が公表され、平成22年の調査から人口が94万人以上減少し、大正9年の調査以来初の減少となるなど、急激な人口減少と超高齢化が進行しております。このような現状に対し、国は「地方創生」を柱に、地域が活力を取り戻し自律的で持続的な社会の創生に向けて動いております。

このような状況の中、本市におきましても、『恋来い！おごおり創生戦略』と題した地方版総合戦略を策定し、安心して子育てができる環境の実現に取り組むとともに、企業誘致などによる雇用の創出や、計画的な宅地開発による移住・定住の促進など、活力に満ちた持続可能な地域社会の構築に取り組んでおります。

さらに、第5次小郡市総合振興計画の基本理念である「市民との協働によるまちづくり」を進め、まちづくりへの市民の皆様の参画を拡充し、まちづくりの現状や課題をともに改善し、市民生活のさらなる向上を目指しております。

どうか、今後とも、市民の皆様をはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、今年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。

広報で振り返る 平成28年

広報おごりに掲載した平成28年の主な出来事を振り返ります。（ ）は広報掲載号

市役所本館1階をリニューアル (1月1日号)

市役所本館の耐震補強工事に伴い、部署ごとに窓口を色分けするなど、本館1階をリニューアルしました。



「久留米広域連携中枢都市圏連携協約」を締結(4月1日号)

久留米市を連携中枢都市とした4市2町(久留米市、小郡市、大川市、うきは市、大刀洗町、大木町)が「久留米広域連携中枢都市圏連携協約」を締結しました。



「恋来い！おごおり創生戦略」を策定 (4月1日号)

人口減少社会や少子高齢社会に対応するため、「小郡市人口ビジョン」を策定し、将来の人口を推計するとともに、今後5年間の基本的方向や具体的な施策をまとめた「恋来い！おごおり創生戦略(小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略)」を策定しました。



寺福童遺跡から出土した銅戈が県文化財に指定(4月15日号)

寺福童遺跡から出土した銅戈と埋納遺構切取資料が、県の文化財に指定されました。

「小郡市教育大綱」を策定(5月1日号)

小郡市として育成する市民像を、「志をもち、新しい時代を切り拓くために、たくましく学ぶ小郡市民」と定め、今後5年間、市の教育・学術・文化の振興に関する基本的な方針「小郡市教育大綱」を策定しました。

熊本地震関連

(6月1日号、7月1日号、12月1日号)

4月に大地震が発生した熊本に対して、市民の皆さんから寄せられた支援物資の受渡しや、小郡市消防団による被災地での支援活動、市から被災地への見舞金の贈呈などが行われました。



「平田家住宅」市指定文化財登録、小郡町家展示室公開(9月1日号、10月1日号)

小郡市の経済発展の一端を担った豪商の邸宅「平田家住宅」を市指定文化財に指定しました。また、10月からは、建物の一部を改装し「小郡町家展示室」として公開しています。

